

第420号 8月号 2019.8.20

岐阜県

商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

伝統のお祭りを商店街も応援 あそびにおんせえ俵町夜祭り

◆主催：美濃俵町商店街振興組合・俵町自治会

7月15日、美濃市俵町商店街では「あそびにおんせえ俵町夜祭り」を開催しました。美濃市内の各町内で催す夜祭りの一つとして、毎年この日に開催しています。

■商店街と自治会との協力で

俵町夜祭りの名物は、商店街や自治会の皆さんが設置する各種ゲームです。今年は、千本引き、スマートボール、サイコロゲーム、ヨーヨー風船釣りゲーム、ガラガラ福引大会が行われました。夕方6時30分から（一部は7時から）の受付開始からすでに長蛇の列ができていました。

列を待つ子どもたちは夜祭りのチラシに付いていたゲームの参加券を持っていました。券を提示してゲームに参加し、成績に応じて景品を獲得します。誰もが参加できる単純なゲームが多いのですが、それだけに夢中になって興じていました。

一方で、券がなくても参加できるサイコロゲームもありました。こちらは岐阜市のスポーツ用品販売会社の協賛によるサイコロゲームです。子どもたちが東西に分かれてサイコロを投げ合い、出た目の大きいほうがよい賞品を貰えます。一度参加しても、反対側に回って再度参加できるとあって、にぎわっていました。



▲さいころゲームの様子

■伝統も守る商店街

夜祭りの会場で、見慣れない飾りつけを見つけました。商店の前に「秋葉神社」と書いてある提灯を立て、お供え物の神酒と大根や西瓜を棚に置いています。わたしが街並みを徒歩で回っただけでも、3か所見つけました。この飾りつけが夜祭りの由来を表しています。

美濃の街並みで有名な「うだつ」は、隣家からの火災の延焼を防ぐ目的で上げられました。美濃町は標高の高い土地に作られていたため、水利が悪く、ひとたび火事が発生すると、鎮火することが困難でした。うだつは火災を怖れた先人の名残です。



▲商店の前の飾りつけ

実は、秋葉神社に祭られる神さまは、火よけの神さまなのです。この夜祭りもまた、一年間、火災が起きないことを願うためのものでした。現代では防火・消防設備も発達し、火災が町全体を覆うようなことはなくなりました。それでも町の方がお祈りしている姿には、息災に過ごしたいという希望がこもっていました。

昔ながらの神事も、地域といっしょに守っていく。地域とともに歩む商店街だからこそその取り組みです。

柳ヶ瀬に新風を サンデービルディングマーケット

◆主催：サンデービルディングマーケット実行委員会・岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

7月21日、岐阜市の柳ヶ瀬商店街で、第59回「サンデービルディングマーケット(サンビル)」を開催しました。毎月第3日曜日に開催している恒例のイベントで、県内外から多くの出店者が集まります。今回は150を超える出店がありました。

■軽快な音楽に合わせて

ポーン、ポーン……。当日の朝、旧長崎屋前の特設ステージから軽やかな音色が聞こえてきました。今月の特別出演、「チュラパンスティールバンド」がリハーサルをしていたのです。本番は午後0時からですが、軽快な音に引かれて、多くの来場者が耳を傾けていました。



▲チュラパンスティールバンド

スティールバンドとは、南米カリブ海に浮かぶ島国トリニダード・トバゴ生まれの楽器、スティールパンで編成したバンドです。この楽器はドラム缶の底をへこませたような形をしており、そのへこんだ底面をマレットで叩いて音を出します。トリニダード・トバゴで毎年開催のカーニバルでも活躍しています。

チュラパンスティールバンドは2018年に結成し、岐阜で活動してきました。昨年12月、サンビルに初めて出演し、好評だったため、今月の再登場になりました。前回よりも子どものメンバーも増え、音響も更に豊かになったそうです。

午後0時、チュラパンスティールバンドの練り歩きが始まりました。大きなスティールパンは台車に乗せて、小さなスティールパンを首から下げて、音楽を奏でながら商店街の通りを歩きます。普段、耳にしているのとは違う音色に、道行く人も足を止めていました。バンドに付いて歩く人もいたほどです。

■出店者の若さ

サンビルの魅力は何とんでも、多彩な出店です。アクセサリーをはじめとするハンドメイ

ド雑貨、スイーツやコーヒーなどの食品、子ども服や婦人服などの衣服、イラストや似顔絵……と、出店者がみな自信を持って勧める商品を販売します。出店者の年齢層が若いのも特徴です。

特に人気があったのは、サンビルでしか買えないというスイーツを販売するブースでした。ブース自体はビルの前に設置していましたが、行列がビルに沿って出来、裏側まで届くかというほどの長さになっていました。



▲行列のできるブース

出店者の若さは、来街者の年齢にもつながっているようでした。子ども連れの親御さんや、友達同士でお店を見て回る若い女性の姿が目につ

きました。年齢の近い方が自身と似たような趣味の商品を扱っている——というのは、来場者にとっても商品を手に取りやすいようです。出店者の知識と思いを傾けた説明に、お客さまも聞き入っていました。

このようなイベントでよく聞かれるのが、「来街者の数と商店街の個店の売り上げとが連動しない」という悩みです。サンビルでも、出店者がブースでお客さまと会話をしているのはよく目にしましたが、飲食店ではない個店に来街者が入っていく姿はあまり見かけませんでした。

一方で、個店の前に商品を並べて、来街者にアピールするアンティーク雑貨店もありました。興味深そうに品定めしているお客さまがいましたので、一定の効果はあるようです。イベントの来街者との相性を考えて商品を並べるなどの工夫が必要だと感じました。

当日は旧長崎屋の1階フロアも、「レディース&キッズ衣料品」の出店場所として使用しました。旧長崎屋の店舗は、今年4月のイベントから使用させてもらっているそうです。少しずつ変化は訪れているようです。

イベント一辺倒でない街づくりを 個店による商店街活性化の取り組み

◆サツキテラー代表・水野琢朗さん

柳ヶ瀬本通りの入り口に、その5階建てのビルはありました。ビルのオーナーは、1階に店舗を構えるオーダーメイドスーツ専門店「サツキテラー」代表、水野琢朗さん。商店街の活性化の一環として、個店でありながらビルを買収したという情報を得て、お話を伺いました。

■ビルを買収した経緯

水野さんは3年ほど前から柳ヶ瀬に店舗を構えていました。以前からまちづくりに関心を持っていた水野さんの元に、ある時、知人からビ

ルの話があったといいます。当時の店舗から徒歩3分、しかも柳ヶ瀬商店街のメインストリートに面する立地に、購入を決意しました。

「リフォームには確かにお金がかかりました。ただ、毎月の支払い額を計算すると、購入前後で大きな違いはありません。以前は住居の家賃と店舗のテナント料を支払っていましたので。現在はこのビルの上階を住居にしています」



▲サツキテーラーの入るビル(皐月会館)

まちづくり会社をはじめとする団体が商店街振興を目的にビルを購入する、という話は何度か耳にしたことがありましたが、個店が買い取るという話は聞いたことがありません。商店街振興組合やまち

づくり会社などに働きかけるという考えはなかったのですか、と尋ねたところ、「ありませんでしたね」と水野さんは笑いました。

「目立ちたがり屋だし、他人と同じことをするのがあまり好きではないのです。店主ってみんな自己顕示欲のかたまりでしょう。自分の目利きで仕入れた商品を並べて、お客さんに『どうだ!』と売るので。在庫を抱えるリスクを背負っても、店舗を開くのが店主としてあるべき姿だと考えます。昭和の考え方だと笑われるかもしれませんが」

■敢えて一線を画して

「だから」と、水野さんは商店街で多く見られるビルの再生について異議を唱えます。ビルを改装して、フロアを分割して、入居を促す。確かにテナントは埋まるのかもしれないが、入ってくれるのはプロの店主というよりも、フリーマーケットや週末起業の延長線上に事業を考える人ではないか。それでは商店街——商店の街——とはいえない、と。

「柳ヶ瀬でも何年もイベントを開催してきましたが、それで店舗はどれだけ増えたのでしょうか。岐阜市内の他の商業区域で増えている事例がある一方、柳ヶ瀬の店舗数が減っていることを顧みると、イベント以外の方法を模索する時期に来ているのではないのでしょうか。だから、別の方法を取ろうと考えたのです」

水野さんによると、駅前ではなく柳ヶ瀬でビルを買い取ったからこそ、新聞等でも取り上げられました。このニュースを見て、水野さんと同じように柳ヶ瀬のビル等に出店してくれる人が3～4人でも現れれば、商店街も活性化するのではないかと、言います。

「地域を活性化するのは、よそ者・若者・ばか者といいます。彼らは放っておいてもきませんから、面白い店主、個性的な店主を増やすには、商店街(振興組合)としても戦略的に営業活動をする必要があると思います」

具体的にあげるのは、新規創業の希望者や多店舗を展開する業者に対する呼びかけです。商工会議所や産業経済振興センターなど、創業等を支援する機関にチラシを置かせてもらう。就職説明会に商店街のブースを設けて、店主になることを勧める、などなど。実現可能かどうかは別として、アイデアがどんどん出てきます。

「それは、30代だからです。『若気の至りで生意気なことを言いました』と謝れば許してもらえる年齢ですから」と、いたずらっぽく笑います。

水野さんが見据えるのは、30年後の商店街です。先輩店主の多くは引退しているでしょう。

「その時、一人で柳ヶ瀬のアーケードを全部修繕しろと言われても、不可能です。そのためには今のうちに同年代の仲間を増やし、もっと盛り上げていきたいのです」

「イベントを開催することを悪いこととは考えていないのですよ。従来、商店街に興味を持っていなかった人が商店街を訪れて、魅力に気付いてくれるのなら開催すべきです。ただ、魅力に気付いてもらうためには、魅力的な店舗がなければいけません。『お客さんが来ないからイベントを開く』では、本末転倒なのです」

【取材・記事 中小企業診断士 山田圭介】

■岐阜県商店街活性化支援事業費補助金のご案内

1. 商店街創生戦略支援事業

県の創生総合戦略に掲げられた施策の推進に資する、以下のすべてを満たす事業

- ①複数の商店街が、協働して実施するものであること
- ②複数の商店街が、全国商店街支援センター等のまちづくりの専門家の意見を聞いて策定する商店街創生計画に基づいて実施するものであること

2. 商店街ソフト事業支援事業

他市町村からの集客が見込むことができる次に掲げる事業

- ①中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業
- ②商店街において1年を通して年4日以上定期的実施する事業

3. 若手・女性事業者グループ等支援事業

若手・女性事業者グループ等が主導的に企画・実施するソフト事業(イベントを含む)

<実施主体>

県内に活動の拠点をもつ若手・女性事業者グループ等

※商店街団体や商工団体の青年部・婦人部、商店街の若手・女性事業者グループ等

◆ほかの商店街のモデルとなるべき新規事業の創設を重点的に支援

<若手・女性事業者グループ等とは>

次のいずれかに該当するもの

- 概ね45歳までの者3人以上が事業参加し、かつその割合が過半数以上であること
- 女性3人以上が事業参加し、かつその割合が過半数以上であること

4. キッズ向け事業支援事業

商店街が実施する子どもに関するソフト事業(イベントを含む)

★子どもとは、幼児・小学生から高校生まで

◆子どもやその親である若い世代を商店街に呼び込み、新しい活力を取り込むため、子どもを対象とした取り組みについて支援

◆まちゼミを普及・促進するため、子ども向けのまちゼミ「まちゼミキッズ」について支援

5. タウンマネージャー支援事業

商店街の中核的な人材(タウンマネージャー)の育成・活動事業

<対象事業>

※タウンマネージャーによる先進地視察、調査研究、意見交換

※タウンマネージャーが企画・実施するソフト事業(イベント含む)

★既存事業は対象外

(内容をリニューアルした事業は対象)

★タウンマネージャーの人件費は対象外

通常の運営経費は対象外

詳しくは、岐阜県商工労働部商業・金融課までお問い合わせください。

TEL: 058-272-8374

■青年部・女性部人材育成事業のお知らせ

商店街の活性化のためには、これからの商店街を担う若手後継者や女性の育成が不可欠であり、商店街青年部や女性部における人材育成や活動を支援していく必要があります。

当事業は、参加者の知識・見聞を深め、今後の商店街活性化を担っていく人材を育成することを目的としています。

多数のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は当連合会までご連絡下さい。

第1回勉強会

日 時：令和元年8月26日(月) 13:30～15:30

場 所：ロイヤル劇場ビル3階 7号室会議室（岐阜市日ノ出町1-20）

テーマ：①「まちづくり会社と商店街の協働」

②「街づくり会社と商店街の協働による街の活性化」

講 師：①柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社 代表取締役 岡田さや加氏

②株式会社道家経営・法務事務所 代表 道家睦明氏

商店街視察(予定)

時 期：令和元年10月 1泊2日

視察先：東京八王子市・立川市 まちづくり立川

参加者：第1回勉強会参加者、第2回勉強会参加予定者の中から6名程度

第2回勉強会(予定)

時 期：令和2年1月中旬

場 所：OKBふれあい会館(岐阜市藪田南5-14-53)

テーマ：①「街の活気づくり」 ②「街自体に活気がなければ、個人商店は成り立たない」

講 師：①株式会社テラスオフィス専務取締役 高岡はつえ氏（未定）

②株式会社道家経営・法務事務所 代表 道家睦明氏

■第3回岐阜県まちゼミフォーラム in 大垣

日 時：令和元年11月14日(木) 13:30～16:45

場 所：【フォーラム会場】クインテッサホテル3階ソーレA(大垣市宮町1-13)

【名刺交換交流会会場】JR大垣駅ビル「アスティ大垣」6階会議室

内 容：基調講演・事例発表・パネルディスカッション・名刺交換交流会(申込者のみ)

定 員：80名(先着順)

参加費：無料(但し、名刺交換交流会参加者は会費として1,000円)

主 催：岐阜県商店街振興組合連合会・大垣市商店街振興組合連合会

後 援：岐阜県・大垣市・大垣商工会議所

■事務局より

梅雨が明け、厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度は、大垣市でのまちゼミフォーラム大垣、若手後継者・女性部の勉強会等の事業があります。皆様方の多数のご参加をお願い申し上げます。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。